

安曇村歌

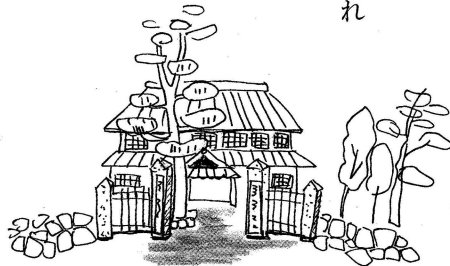
作歌 早藤 貞一郎
作曲 月賀田萬世士



安曇村歌

一、西を仰げば 武奈^{ぶな}が岳
いと高くこそ そびえけれ
人の心もこの山に
類^{たぐひ}ひて高し 安曇の里

二、北をのぞめば 安曇川の
いと清くこそ 流れけれ
人の心もこの水に
類^{たぐひ}ひて清し 安曇の里



安曇村歌は、明治四十四年十一月十三日「安曇村歌ヲ安曇尋常高等小学校用唱歌ニ使用の件許可」とされたことにより、校歌に代わって現在の校歌が誕生するまで、学校の唱歌として長く安曇小学校で歌われ親しまれてきた「安曇小学校沿革史」による
(なお、歌詞は六番まであったが省略する)